

GSビッグデータ・ストラテジー
(欧州株)

Aコース（為替ヘッジあり）

償還日(2022年1月27日)	第9期
償還価額	12,669.23円 騰落率 0.85%
純資産総額	44百万円 分配金合計 0円

Bコース（為替ヘッジなし）

償還日(2022年1月27日)	第9期
償還価額	12,422.14円 騰落率 2.55%
純資産総額	131百万円 分配金合計 0円

(注) 騰落率は収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

■本ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2022年1月27日（繰上償還日）まで
運用方針	主として欧州の株式を主要投資対象とし、計量分析を用いて投資対象のリターン予測を行うと同時にポートフォリオのリスク・リターン特性の最適化プロセスを経ることによりリスク管理を行う投資信託証券への投資を通じ、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	
本ファンド	以下の指定投資信託証券を主要投資対象とします。 ・ルクセンブルク籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ S. I. C. A. V. ①ゴールドマン・サックス・ヨーロッパCO REエクイティ・ポートフォリオ ・アイルランド籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ・ピーエルシー ②ゴールドマン・サックス・ユーロ・リキッド・リザーブズ・ファンド
指定投資信託証券①	欧州の株式
指定投資信託証券②	ユーロ建ての短期の市場性を有する金融市場証券
運用方法・組入制限	①外貨建資産については、Aコースでは、原則として対円での為替ヘッジを行い、Bコースでは、原則として対円での為替ヘッジは行いません。 ②投資信託証券への投資は、高位に維持することを基本とします。 ③株式への直接投資は行いません。
分配方針	原則として毎計算期末（毎年3月15日および9月15日。休業日の場合は翌営業日。）に収益の分配を行います。投信会社が経費控除後の利子・配当等収益および売買損益（評価損益を含みます。）等の中から基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金を決定します。

Aコース（為替ヘッジあり）

Bコース（為替ヘッジなし）

追加型投信／海外／株式

第9期（信託終了日2022年1月27日）

作成対象期間：2021年9月16日～2022年1月27日

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「GSビッグデータ・ストラテジー（欧州株）Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）」は、欧州の株式を主な投資対象とし、ビッグデータやAI（人工知能）を活用した独自開発の計量モデルを用いて多様な銘柄評価基準に基づいて幅広い銘柄に分散投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行ってまいりましたが、2022年1月27日に償還いたしました。ここに謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げますとともに、受益者の皆様のご愛顧に対しまして、厚く御礼申し上げます。

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

〒106-6147 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー

お問合せ先：03-6437-6000（代表）

受付時間：営業日の午前9時～午後5時 | www.gsam.co.jp

GSビッグデータ・ストラテジー（欧州株）Aコース（為替ヘッジあり）

（以下、「Aコース（為替ヘッジあり）」といいます。）

■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 引 前 金 分 配	期 騰 落 中 率	参 考 指 標	期 騰 落 中 率	投 資 信 託 証 券 比 率	純 資 産 額
(設 定 日) 2017年12月12日	円 10,000	円 —	% —	10,000	% —	% —	百万円 20
1 期 (2018年 3 月15日)	9,754	0	△ 2.5	9,686	△ 3.1	97.7	98
2 期 (2018年 9 月18日)	10,013	0	2.7	9,920	2.4	100.7	81
3 期 (2019年 3 月15日)	9,663	0	△ 3.5	10,036	1.2	99.8	67
4 期 (2019年 9 月17日)	9,900	0	2.5	10,549	5.1	100.4	66
5 期 (2020年 3 月16日)	7,898	0	△20.2	7,802	△26.0	96.8	38
6 期 (2020年 9 月15日)	9,724	0	23.1	10,181	30.5	97.6	48
7 期 (2021年 3 月15日)	11,011	0	13.2	11,611	14.0	97.1	50
8 期 (2021年 9 月15日)	12,562	0	14.1	12,848	10.7	97.0	47
(償 還 日) 9 期 (2022年 1 月27日)	(償還価額) 12,669.23		0.9	13,055	1.6	—	44

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 参考指標（MSCIヨーロッパ・インデックス（配当込み、円ヘッジ・ベース））は、2017年12月12日を10,000として指数化しております。

■当期中の基準価額と市況推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	参 考 指 標	騰 落 率	投 資 信 託 証 券 比 率
(期 首) 2021年 9 月15日	円 12,562	% —	12,848	% —	% 97.0
9 月末	12,153	△3.3	12,640	△1.6	97.1
10月末	12,473	△0.7	13,146	2.3	99.8
11月末	12,362	△1.6	12,940	0.7	97.2
12月末	12,802	1.9	13,535	5.4	98.0
(償 還 日) 2022年 1 月27日	(償還価額) 12,669.23	0.9	13,055	1.6	—

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 参考指標（MSCIヨーロッパ・インデックス（配当込み、円ヘッジ・ベース））は、2017年12月12日を10,000として指数化しております。

GSビッグデータ・ストラテジー（欧州株）Bコース（為替ヘッジなし）

（以下、「Bコース（為替ヘッジなし）」といいます。）

■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 引 前 金 分 配	期 騰 落 中 率	参 考 指 標	期 騰 落 中 率	投 資 信 託 証 券 比 率	純 資 産 額
(設 定 日) 2017年12月12日	円 10,000	円 —	% —	10,000	% —	% —	百万円 10
1 期 (2018年 3 月15日)	9,584	0	△ 4.2	9,445	△ 5.6	97.0	389
2 期 (2018年 9 月18日)	9,818	0	2.4	9,739	3.1	99.9	421
3 期 (2019年 3 月15日)	9,297	0	△ 5.3	9,536	△ 2.1	96.6	323
4 期 (2019年 9 月17日)	8,977	0	△ 3.4	9,400	△ 1.4	99.1	246
5 期 (2020年 3 月16日)	7,069	0	△21.3	6,775	△27.9	98.0	153
6 期 (2020年 9 月15日)	8,985	0	27.1	9,416	39.0	98.9	211
7 期 (2021年 3 月15日)	10,656	0	18.6	11,250	19.5	98.8	218
8 期 (2021年 9 月15日)	12,113	0	13.7	12,396	10.2	99.6	189
(償 還 日) 9 期 (2022年 1 月27日)	(償還価額) 12,422.14		2.6	12,704	2.5	—	131

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 参考指標（MSCIヨーロッパ・インデックス（配当込み、円ベース））は、2017年12月12日を10,000として指数化しております。

■当期中の基準価額と市況推移

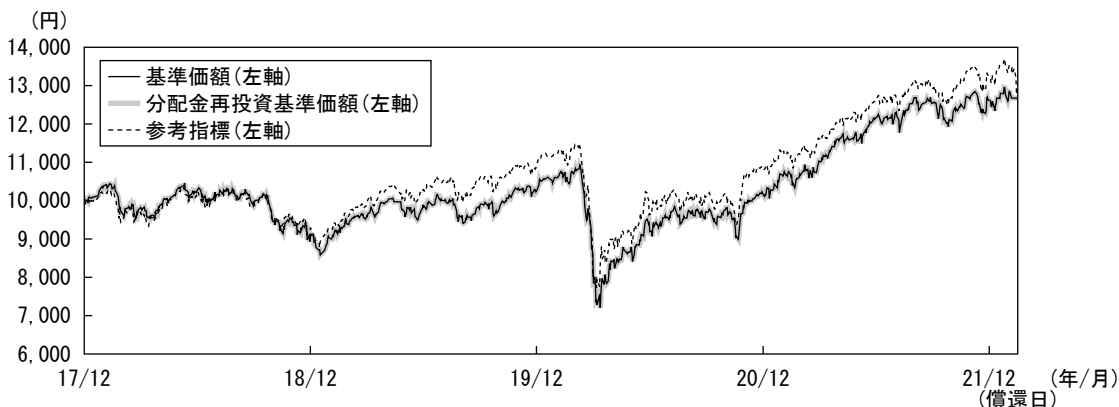
年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	参 考 指 標	騰 落 率	投 資 信 託 証 券 比 率
(期 首) 2021年 9 月15日	円 12,113	% —	12,396	% —	% 99.6
9 月末	11,721	△3.2	12,201	△1.6	98.9
10月末	12,341	1.9	13,031	5.1	97.9
11月末	11,911	△1.7	12,307	△0.7	98.8
12月末	12,546	3.6	13,305	7.3	94.2
(償 還 日) 2022年 1 月27日	(償還価額) 12,422.14	2.6	12,704	2.5	—

(注1) 騰落率は期首比です。

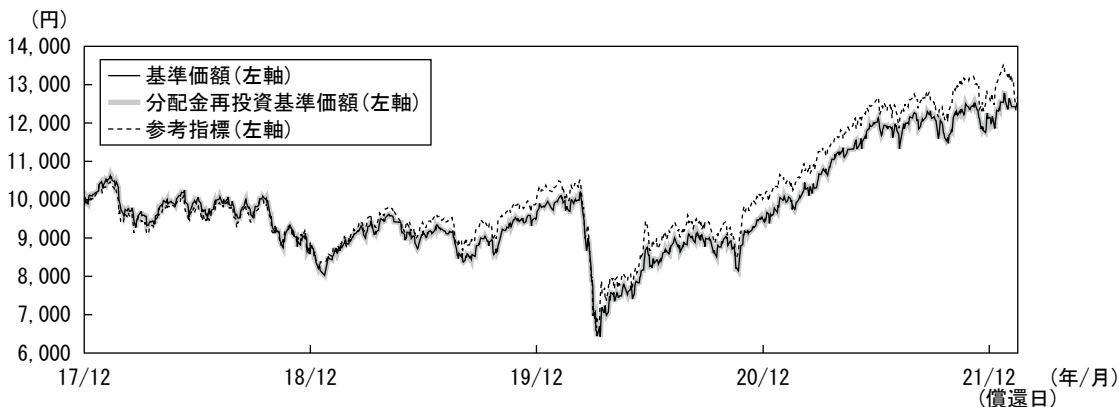
(注2) 参考指標（MSCIヨーロッパ・インデックス（配当込み、円ベース））は、2017年12月12日を10,000として指数化しております。

■設定以来の基準価額等の推移について（2017年12月12日～2022年1月27日）

○Aコース（為替ヘッジあり）



○Bコース（為替ヘッジなし）



(注1) 参考指標は、Aコース（為替ヘッジあり）はMSCIヨーロッパ・インデックス（配当込み、円ヘッジ・ベース）、Bコース（為替ヘッジなし）はMSCIヨーロッパ・インデックス（配当込み、円ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

(注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注3) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注4) 分配金再投資基準価額、参考指標は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

■前作成期末までの運用状況（2017年12月12日～2021年9月15日）

○投資環境

＜欧州株式市場＞

欧州株式市場は上昇しました。期間の序盤は、米中通商問題による米中関係の悪化やイタリアの財政不安に加えて、トルコ・リラの急落や英国のEU（欧州連合）離脱問題などがマイナス材料となり軟調に推移しました。2019年は、パウエルFRB（米連邦準備制度理事会）議長による市場を意識した柔軟な金融政策を行うとの発言を受けて、米金利上昇への懸念が後退したことや、米中通商協議が再開されたことなどから投資家のリスク回避姿勢が弱まり、概ね上昇基調で推移しました。2020年に入り、新型コロナウイルスの感染拡大により、企業の生産活動や個人消費をはじめ、世界経済の減速懸念が強まり欧州株式市場は大幅に下落しましたが、その後、FRBによる大規模な資金供給策や、新型コロナウイルスのワクチン開発への期待が高まり反発しました。2021年にはバイデン氏が米国大統領に正式に就任し経済対策への期待感が高まったことに加え、新型コロナウイルスのワクチンが実用化されたことやECB（欧州中央銀行）が国債買い入れのペースを加速させる方針を示したことなどから、欧州株式市場は上昇し、期間を通じて欧州株式市場は上昇する結果となりました。期の終盤は、米金融当局が早期の金融引き締め政策を示唆したことなどがマイナス材料となった一方、良好な決算発表などが好感され、一進一退の推移となりました。

＜外国為替市場＞

外国為替市場では、ユーロや英ポンドは対円で下落しました。

＜短期金融市場＞

1ヵ月物EURIBOR（欧州銀行間取引金利）は-0.37%程度から-0.57%程度まで低下しました。

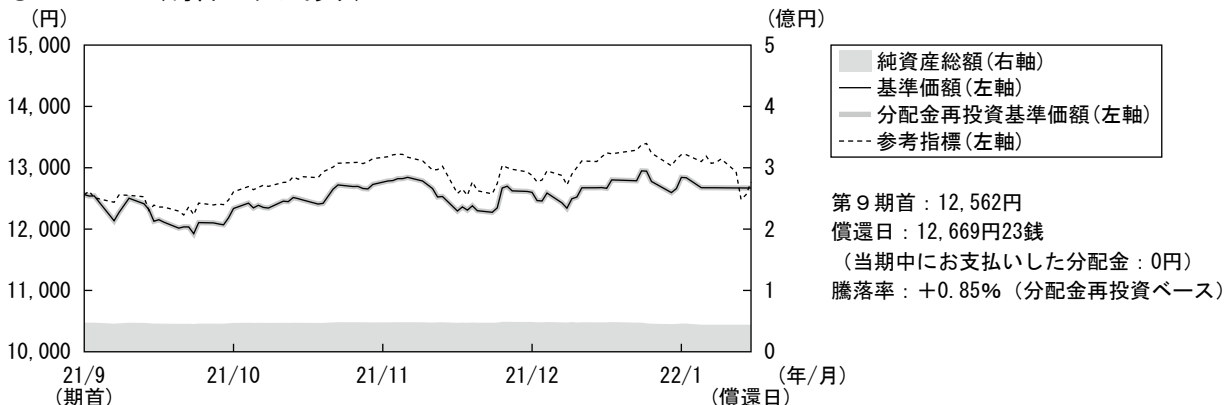
○運用状況【第1期～第8期】（2017年12月12日～2021年9月15日）

本ファンドは、ゴールドマン・サックス・ヨーロッパCOREエクイティ・ポートフォリオおよびゴールドマン・サックス・ユーロ・リキッド・リザーブズ・ファンドを主要投資対象とし、期を通じてゴールドマン・サックス・ヨーロッパCOREエクイティ・ポートフォリオを概ね高位に組入れることで、欧州の株式に投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行いました。また、Aコース（為替ヘッジあり）では対円で為替ヘッジにより為替変動リスクの低減をめざしました。その結果、当該期間の本ファンドのパフォーマンス（分配金再投資ベース）はAコース（為替ヘッジあり）は+26.69%、Bコース（為替ヘッジなし）は+24.22%となりました。一方、参考指標のパフォーマンスはAコース（為替ヘッジあり）は+30.55%、Bコース（為替ヘッジなし）+27.04%となりました。

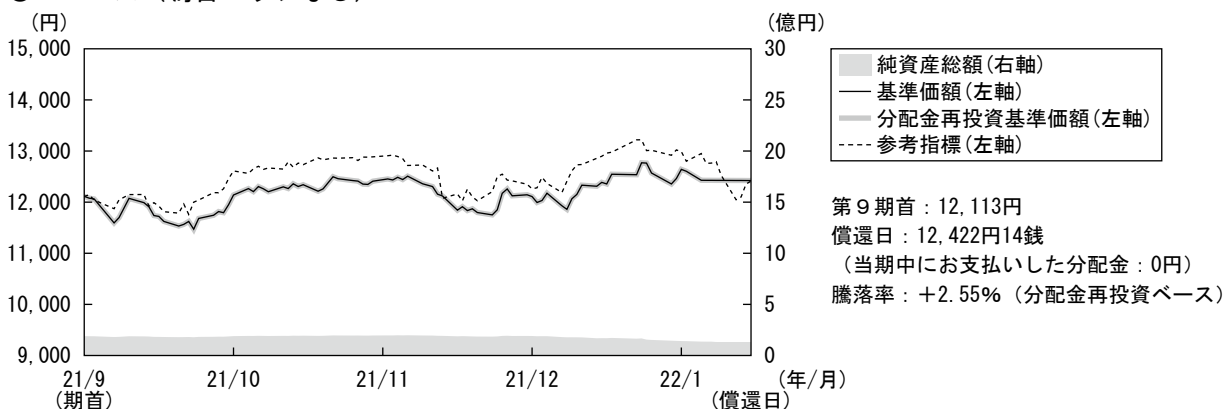
■運用経過

◆基準価額等の推移について（2021年9月16日～2022年1月27日）

○Aコース（為替ヘッジあり）



○Bコース（為替ヘッジなし）



(注1) 参考指標は、Aコース（為替ヘッジあり）はMSCIヨーロッパ・インデックス（配当込み、円ヘッジ・ベース）、Bコース（為替ヘッジなし）はMSCIヨーロッパ・インデックス（配当込み、円ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

(注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注3) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注4) 分配金再投資基準価額、参考指標は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

◆基準価額の主な変動要因

- Aコース（為替ヘッジあり）の基準価額は、期首の12,562円から107円23銭上昇し、償還日には12,669円23銭となりました。
- Bコース（為替ヘッジなし）の基準価額は、期首の12,113円から309円14銭上昇し、償還日には12,422円14銭となりました。
- （以下、2ファンドを総称して「本ファンド」といいます。）

上昇要因

欧州株式市場（現地通貨ベース）が上昇したこと、素材や公益事業セクターを中心に銘柄選択効果がプラス寄与になったことなどが、基準価額の上昇要因となりました。また、Bコース（為替ヘッジなし）においては、英ポンドなどが円に対して上昇したことも、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

ヘルスケアや金融などのセクターにおける銘柄選択がマイナス寄与となったこと、オランダやスウェーデンにおける国別配分効果がマイナス寄与となったことなどが、基準価額の下落要因となりました。

◆組入れファンドの当期中の騰落率（分配金再投資ベース）

ファンド名	騰落率 (ユーロベース)	騰落率 (円換算ベース)
ゴールドマン・サックス・ヨーロッパ COREエクイティ・ポートフォリオ ^{*1}	3.77%	5.11%
ゴールドマン・サックス・ユーロ・リキッド・リザーブズ・ファンド ^{*2}	-0.22%	1.06%

（注）純資産価格の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

正式名称はそれぞれ以下の通りです。

- *1 ルクセンブルク籍外国投資証券（ユーロ建て）ゴールドマン・サックス・ファンズ S. I. C. A. V. - ゴールドマン・サックス・ヨーロッパCOREエクイティ・ポートフォリオ IOアキュムレーション・シェアクラス
- *2 アイルランド籍外国投資証券（ユーロ建て）ゴールドマン・サックス・ファンズ・ピーエルシー-ゴールドマン・サックス・ユーロ・リキッド・リザーブズ・ファンド X アキュムレーション・クラス

◆投資環境について

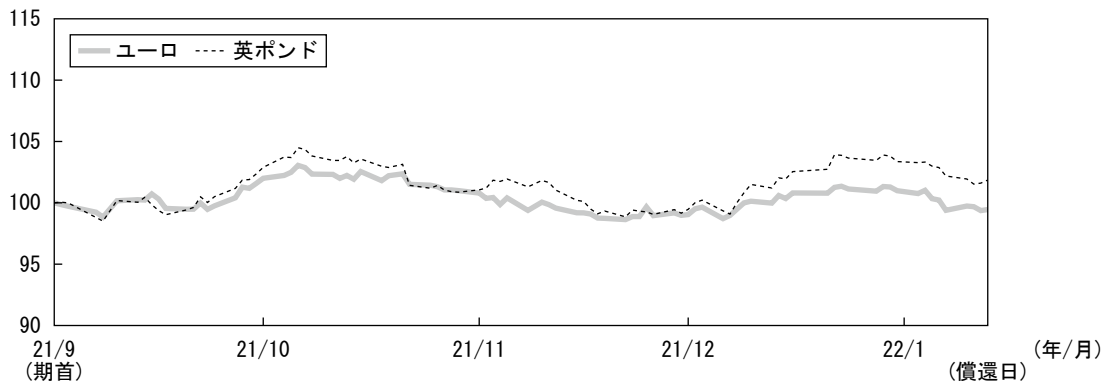
＜欧州株式市場＞

当期の欧州株式市場は上昇しました。期初は、エネルギー供給不足への懸念などが重しとなり、下落する場面も見られたものの、本格化する企業決算において、多くの企業が堅調な業績を発表したことで景気回復への期待が高まり、欧州株式市場は上昇しました。その後も、米ファイザーが開発中の新型コロナウイルスの治療薬に対する期待を手掛かりに欧州株式市場は上昇基調で推移しました。しかし11月末になると、南アフリカで検出されたより強い感染力を持つ新型コロナウイルスの新たな変異株「オミクロン」に対する不安から投資家のリスク回避姿勢が強まり、欧州株式市場は急落しました。期の後半は、オミクロン株によって米国はじめ世界経済の成長が阻害されることはないとの認識が広まったことから、年末にかけて一段高となりました。しかし2022年に入ると一転、FOMC（米連邦公開市場委員会）議事要旨において、早期利上げの可能性が示唆され、世界株式市場は大幅に続落しました。さらに、ウクライナを巡るロシアと西側諸国との緊迫化もマイナス材料となり、欧州株式市場は下落しました。

＜外国為替市場＞

当期の外国為替市場では、ユーロは対円で上昇した一方、英ポンドは対円で下落しました。

○為替レート（対円）の推移



出所：一般社団法人投資信託協会

（注）各通貨は期首を100として指数化しています。

＜短期金融市場＞

当期において、1ヵ月物EURIBOR（欧州銀行間取引金利）は前期末の-0.56%程度から-0.57%程度まで低下して償還日を迎えました。

◆ポートフォリオについて

＜本ファンド＞

本ファンドは、ゴールドマン・サックス・ヨーロッパCOREエクイティ・ポートフォリオおよびゴールドマン・サックス・ユーロ・リキッド・リザーブズ・ファンドを主要投資対象とし、期を通じてゴールドマン・サックス・ヨーロッパCOREエクイティ・ポートフォリオを概ね高位に組入れることで、欧州の株式に投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行いました。また、Aコース（為替ヘッジあり）では対円での為替ヘッジにより為替変動リスクの低減をめざしました。

＜ゴールドマン・サックス・ヨーロッパCOREエクイティ・ポートフォリオ＞

欧州の株式を主な投資対象とし、ビッグデータやAI（人工知能）を活用したゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント独自開発の計量モデルを用い、多様な銘柄評価基準に基づいて幅広い銘柄に分散投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざしました。

当期においては、国別配分効果と銘柄選択効果がともにマイナス寄与となりました。国別配分効果では、オランダやスウェーデンを中心にマイナス寄与となった一方、銘柄選択効果では、ヘルスケアや金融セクターなどがマイナス寄与となりました。また、当運用では、最新のビッグデータや伝統的な市場・業績データ等をもとに、モメンタム（Momentum）・バリュー（Value）・収益性（Profitability）の投資テーマを通じた評価基準（MVPモデル）に基づき、投資魅力度を総合的に評価していますが、当期は、「バリュー」がプラス寄与になった一方、「収益性」と「モメンタム」はマイナス寄与となりました。

＜ゴールドマン・サックス・ユーロ・リキッド・リザーブズ・ファンド＞

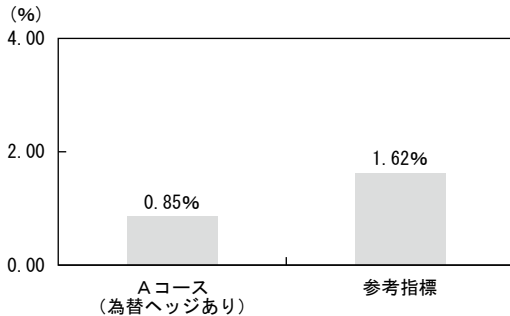
主としてユーロ建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、ユーロベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

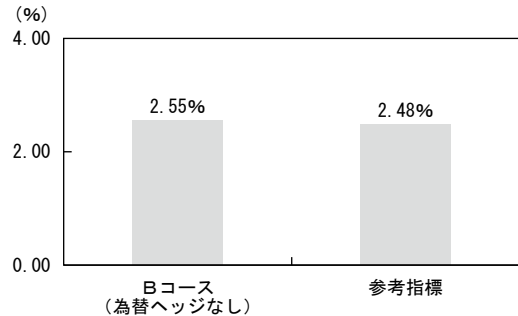
本ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、本ファンドの基準価額と参考指標の騰落率の対比です。

<当期の基準価額と参考指標の対比（騰落率）>

○Aコース（為替ヘッジあり）



○Bコース（為替ヘッジなし）



（注）各コースの基準価額の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当期のAコース（為替ヘッジあり）のパフォーマンス（分配金再投資ベース）は、+0.85%となった一方、参考指標のパフォーマンスは+1.62%となりました。Bコース（為替ヘッジなし）のパフォーマンス（分配金再投資ベース）は、+2.55%となった一方、参考指標のパフォーマンスは+2.48%となりました。

以上のような運用の結果、信託期間終了時における償還価額はAコース（為替ヘッジあり）は12,669円23銭、Bコース（為替ヘッジなし）は12,422円14銭となりました。

本ファンドは、信託約款の規定に基づき、2022年1月27日をもちまして繰上償還させていただくことになりました。

本ファンドを長らく保有頂きました受益者の皆様のご愛顧に感謝いたします。

■本ファンドのデータ

◆本ファンドの組入資産の内容（2022年1月27日現在）

<Aコース（為替ヘッジあり）>

○組入れファンド

有価証券等の組入れはございません。

○資産別配分



その他現金等
100.0%

○国別配分



日本
100.0%

○通貨別配分



日本円
100.0%

（注）上記の比率は全てAコース（為替ヘッジあり）の純資産総額に対する割合です。

<Bコース（為替ヘッジなし）>

○組入れファンド

有価証券等の組入れはございません。

○資産別配分



その他現金等
100.0%

○国別配分



日本
100.0%

○通貨別配分



日本円
100.0%

（注）上記の比率は全てBコース（為替ヘッジなし）の純資産総額に対する割合です。

◆組入上位ファンドの概要

組入れはございません。

Aコース（為替ヘッジあり）

■ 1万口当たりの費用明細

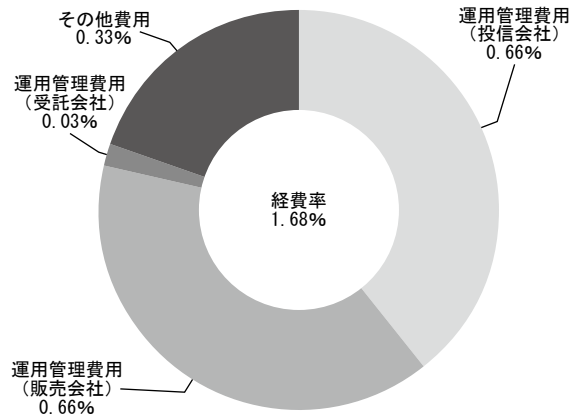
項目	当期		項目の概要
	2021年9月16日～2022年1月27日		
	金額	比率	
信託報酬 （投信会社）	62円 (30)	0.495% (0.242)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
（販売会社）	(30)	(0.242)	
（受託会社）	(1)	(0.010)	
その他費用 （保管費用） （その他）	15 (9) (6)	0.122 (0.073) (0.049)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 目論見書・運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用
合計	77	0.617	
期中の平均基準価額は12,447円です。			

- (注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。但し、各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
- (注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

■経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く）

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料、有価証券取引税及び投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.68%です。



経費率 (①+②)	1.68%
①このファンドの費用の比率	1.68%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	－%

- (注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
- (注3) 各比率は、年率換算した値です。
- (注4) 投資先ファンドとは、このファンドが実質的に組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
- (注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
- (注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- (注7) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。
- (注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■売買及び取引の状況（2021年9月16日から2022年1月27日まで）

投資信託証券

銘柄名		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外	ゴールドマン・サックス・ファンズ S. I. C. A. V. - ゴールドマン・サックス・ ヨーロッパ CORE エクイティ・ ポートフォリオ IO アキュムレーション・ シエアラクラス	936	20	17,056	375
	ゴールドマン・サックス・ファンズ・ ビーエルシー - ゴールドマン・ サックス・ユーロ・リキッド・リザーブズ・ ファンド X アキュムレーション・クラス	0.205	2	1	11

（注）金額は受渡し代金。

■利害関係人との取引状況等（2021年9月16日から2022年1月27日まで）

利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細（2022年1月27日現在）

償還日における有価証券の組入れはありません。

■投資信託財産の構成

2022年1月27日現在

項 目	償 還 日	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 44,399	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	44,399	100.0

■資産、負債、元本及び償還価額の状況

項 目	償 還 日
	2022年1月27日
(A) 資 産	44,399,972円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	44,399,972
(B) 負 債	251,952
未 払 信 託 報 酬	234,477
未 払 利 息	117
そ の 他 未 払 費 用	17,358
(C) 純 資 産 総 額(A - B)	44,148,020
元 本	34,846,640
償 還 差 益 金	9,301,380
(D) 受 益 権 総 口 数	34,846,640口
1万口当たり償還価額(C / D)	12,669円23銭

■損益の状況

項 目	当 期
	自 2021年9月16日 至 2022年1月27日
(A) 配 当 等 収 益	△ 1,160円
受 取 利 息	2
支 払 利 息	△ 1,162
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	685,240
売 買 益	2,881,277
売 買 損	△2,196,037
(C) 信 託 報 酬 等	△ 292,239
(D) 当 期 損 益 金(A + B + C)	391,841
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	7,400,902
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	1,508,637
(配 当 等 相 当 額)	(1,011,151)
(売 買 損 益 相 当 額)	(497,486)
償 還 差 益 金(D + E + F)	9,301,380

(注1) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注3) 期首元本額は37,838,039円、当作成期間中において、追加設定元本額は2,276,007円、同解約元本額は5,267,406円です。

■投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2017 年 12 月 12 日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2022 年 1 月 27 日		資 産 総 額	44,399,972円
区 分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負 債 総 額	251,952円
受益権口数	20,000,000口	34,846,640口	14,846,640口	純 資 産 総 額	44,148,020円
				受 益 権 口 数	34,846,640口
元 本 額	20,000,000円	34,846,640円	14,846,640円	1万口当たり償還金	12,669.23円
毎計算期末の状況					
計 算 期	元 本 額	純 資 産 総 額	基 準 価 額	1 万 口 当 た り 分 配 金	
				金 額	分 配 率
第 1 期	101,329,512円	98,835,809円	9,754円	0円	0.0000%
第 2 期	81,427,416	81,536,890	10,013	0	0.0000
第 3 期	69,747,301	67,395,340	9,663	0	0.0000
第 4 期	67,206,085	66,531,551	9,900	0	0.0000
第 5 期	48,265,021	38,121,383	7,898	0	0.0000
第 6 期	49,555,991	48,188,654	9,724	0	0.0000
第 7 期	45,540,509	50,142,862	11,011	0	0.0000
第 8 期	37,838,039	47,532,211	12,562	0	0.0000

Bコース（為替ヘッジなし）

■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2021年9月16日～2022年1月27日		
	金額	比率	
信託報酬 （投信会社）	60円 (29)	0.495% (0.242)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
（販売会社）	(29)	(0.242)	
（受託会社）	(1)	(0.010)	
その他費用 （保管費用） （その他）	7 (3) (5)	0.062 (0.022) (0.040)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 目論見書・運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用
合計	67	0.557	
期中の平均基準価額は12,129円です。			

（注1）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。但し、各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

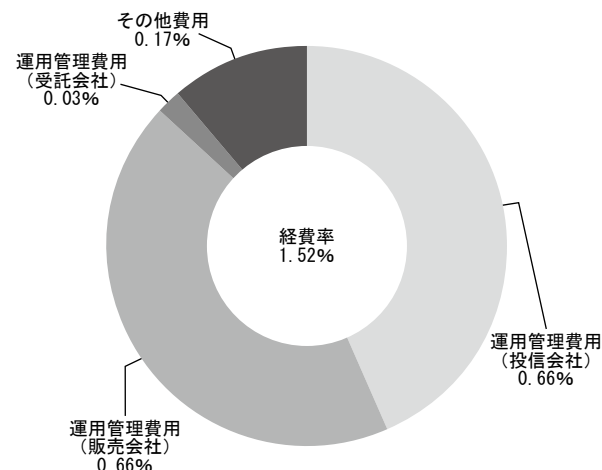
（注2）金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

（注3）比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

■経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く）

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料、有価証券取引税及び投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.52%です。



経費率（①+②）	1.52%
①このファンドの費用の比率	1.52%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	－%

（注1）①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は、年率換算した値です。

（注4）投資先ファンドとは、このファンドが実質的に組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

（注5）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

（注6）①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

（注7）投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

（注8）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■売買及び取引の状況（2021年9月16日から2022年1月27日まで）

投資信託証券

銘柄名		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外	ゴールドマン・サックス・ファンズ S. I. C. A. V. -ゴールドマン・サックス・ ヨーロッパCOREエクイティ・ ポートフォリオ IOアキュムレーション・ シェアクラス	1,358	30	67,287	1,482
	ゴールドマン・サックス・ファンズ・ ビーエルシー - ゴールドマン・ サックス・ユーロ・リキッド・リザーブズ・ ファンド X アキュムレーション・クラス	—	—	3	37

（注）金額は受渡し代金。

■利害関係人との取引状況等（2021年9月16日から2022年1月27日まで）

利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細（2022年1月27日現在）

償還日における有価証券の組入れはありません。

■投資信託財産の構成

2022年1月27日現在

項 目	償 還 日	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 132,957	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	132,957	100.0

■資産、負債、元本及び償還価額の状況

項 目	償 還 日
	2022年1月27日
(A) 資 産	132,957,682円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	132,957,682
(B) 負 債	961,281
未 払 信 託 報 酬	894,592
未 払 利 息	350
そ の 他 未 払 費 用	66,339
(C) 純 資 産 総 額(A - B)	131,996,401
元 本	106,258,958
償 還 差 益 金	25,737,443
(D) 受 益 権 総 口 数	106,258,958口
1万口当たり償還価額(C / D)	12,422円14銭

■損益の状況

項 目	当 期
	自 2021年9月16日 至 2022年1月27日
(A) 配 当 等 収 益	△ 3,765円
受 取 利 息	16
支 払 利 息	△ 3,781
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	4,257,763
売 買 益	5,518,413
売 買 損	△ 1,260,650
(C) 信 託 報 酬 等	△ 1,008,233
(D) 当 期 損 益 金(A + B + C)	3,245,765
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	19,843,188
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	2,648,490
(配 当 等 相 当 額)	(3,430,745)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 782,255)
償 還 差 益 金(D + E + F)	25,737,443

(注1) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注3) 期首元本額は156,167,516円、当作成期間中において、追加設定元本額は8,471,487円、同解約元本額は58,380,045円です。

■投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2017 年 12 月 12 日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2022 年 1 月 27 日		資 産 総 額	132,957,682円
区 分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負 債 総 額	961,281円
受益権口数	10,000,000口	106,258,958口	96,258,958口	純 資 産 総 額	131,996,401円
				受 益 権 口 数	106,258,958口
元 本 額	10,000,000円	106,258,958円	96,258,958円	1万口当たり償還金	12,422.14円
毎計算期末の状況					
計 算 期	元 本 額	純 資 産 総 額	基 準 価 額	1 万 口 当 た り 分 配 金	
				金 額	分 配 率
第 1 期	406,661,098円	389,757,366円	9,584円	0円	0.0000%
第 2 期	429,602,570	421,782,501	9,818	0	0.0000
第 3 期	347,822,271	323,364,787	9,297	0	0.0000
第 4 期	274,153,568	246,115,995	8,977	0	0.0000
第 5 期	217,237,399	153,558,299	7,069	0	0.0000
第 6 期	235,880,209	211,941,718	8,985	0	0.0000
第 7 期	205,159,650	218,623,787	10,656	0	0.0000
第 8 期	156,167,516	189,166,331	12,113	0	0.0000

■償還金のお知らせ

Aコース（為替ヘッジあり）

1 万口当たり償還金	12,669円23銭
------------	------------

Bコース（為替ヘッジなし）

1 万口当たり償還金	12,422円14銭
------------	------------

◇個人の受益者については、償還金が個別元本を上回る場合、上回る部分が課税対象となります。

◇税率は、個人の受益者については原則20.315%（所得税15.315%、地方税5%）です。

◇税法が改正された場合等には、上記内容が変更になる場合もあります。